

平成18年度「学生による授業評価」調査票 (基礎ゼミナール用)

本学ではファカルティ・ディベロップメント(FD)活動の一環として、教育の現状を把握し、今後の授業改善などに役立てるために「学生による授業評価」を行っています。この授業評価は、学生の目から見て、現在受講している授業についての意見を尋ねる内容となっています。この授業評価の結果は、個人のプライバシーを守るため統計的に処理するとともに、得られたデータは上記の目的以外には一切使用しません。また、この授業評価が、あなたの成績に影響することは一切ありません。

以下の設問に対してマーク・カードにHかHBの鉛筆でマークして下さい。(回答不要は空欄で、0が必要ならば必ず0にマークして下さい。)

【授業コード】 (5けた) 1 - (担当教員による指示に従って授業コードを5桁でマークして下さい。)

【あなた自身のことについて】

性別 1.男 2.女

学年 1. 1年 2. 2年 3. 3年 4. 4年 5. 5年 6. その他

学系・学部等 (1~8は首都大生のみ) 1.人文・社会系 2.法学系 3.経営学系 4.理工学系 5.都市環境 6.システムデザイン 7.健康福祉 8. その他(聴講生、科目等履修生、研究生など) 9. 都立大学

首都大学分野・コース (首都大生のみ:2けた) 01 社会 02 社会人類 03 社会福祉 04 心理 05 教育 06 哲学 07 歴史・考古 08 アジア・日本文化 09 欧米文化 10 表象言語 21 法律 22 政治 26 経営 31 数理 32 物理 33 化学 34 生命 35 電気電子 36 機械 41 都市政策 51 地理環境 52 都市基盤 53 建築都市 54 材料化学 61 ヒューマンカ0 62 情報通信 63 航空宇宙 64 経営システム 65 インダストリアルアート 71 看護 72 理学療法 73 作業療法 74 放射線 81 人文・社会系所属未決定 82 法学系所属未決定 91 大学院生

都立大学学部 (都立大学生のみ) 1 人文学部 2 法学部 3 経済学部 4 理学部 5 工学部 6 都市研 7 大学院生 8 研究生 9 科目等履修生

以下の質問について、次の5段階評価に従って最も適切と思われる番号をマークして下さい。

全くそう思わない そう思わない どちらとも言えない そう思う 強くそう思う

1 - - - - - 2 - - - - - 3 - - - - - 4 - - - - - 5

【授業に対するあなたの取り組みについて】

問1 この授業への出席率は? 1.0-29% 2.30-49% 3.50-69% 4.70-89% 5.90%以上

問2 私は、この授業に意欲的・積極的に取り組んだ。 1----2----3----4----5

問3 私は、この授業を適切に、客観的に評価する自信がある。 1----2----3----4----5

【授業について:共通事項】

問4 設定されたテーマと、ディスカッション、調査、発表とのつながりが明瞭であった。 1----2----3----4----5

問5 テーマの理解、ディスカッション、調査などのために、教員による板書、資料、ビデオ、PC 画像などが役立った。 1----2----3----4----5

問6 ディスカッションのテーマ、調査課題などの難易度は適切であった。 1----2----3----4----5

問7 教員による解説や、作業・調査への指示などは、明快であった。 1----2----3----4----5

問8 教員は、学生の思考、発言、ディスカッション、調査意欲を効果的に促していた。 1----2----3----4----5

問9 教員は、学生の質問、意見等に対し、明快に、わかりやすく対応していた。 1----2----3----4----5

問10 ゼミナールに対する教員の熱意が感じられた。 1----2----3----4----5

【基礎ゼミナール用個別事項】

問11 私は、基礎ゼミナールの趣旨・意義を理解することができた。 1----2----3----4----5

問12 私は、積極的に教員やクラスメートと意思や思考を伝達し合うことに努めた。 1----2----3----4----5

問13 教員やクラスの仲間とのディスカッション、共同作業から、個々人の多様な価値観を認識できた。 1----2----3----4----5

問14 問題発見と、その解決に向けた取り組み姿勢の重要性を認識した。 1----2----3----4----5

問15 ディスカッションやプレゼンテーションなどの自己表現能力を向上させることができた。 1----2----3----4----5

問16 教員によるテーマについての解説部分と、受講生による議論、調査、発表の部分の時間的バランスは良好だった。 1----2----3----4----5

【本ゼミナールへの満足度】

問17 私は、本ゼミナールを受講して満足した。 1----2----3----4----5

問18 私は、本ゼミナールをほかの学生に薦めたい。 1----2----3----4----5

【自由記述】マーク・カードの裏面に自由に記述して下さい。

本ゼミナールについて、改善してもらいたい点があれば、具体的な提案を含めて記述して下さい。

本ゼミナールで、他授業では得られない良かった点があれば、記述して下さい。

その他、時間割配置、クラス決定法、受講者数など、基礎ゼミナールについて自由に記述して下さい。

(ご協力有り難うございました。 首都大学東京 FD 委員会および基礎教育部会)

平成18年度「教員による授業評価」調査票 基礎ゼミナール用 (2006 前期：基礎ゼミナール：教員評価 印刷用)

本学ではファカルティ・ディベロップメント(FD)活動の一環として、教育の現状を把握し、今後の授業改善などに役立てるために「教員による授業評価」を行っています。この授業評価は、先生ご自身が授業をどのように考えているかをお尋ねする内容となっています。この授業評価の結果は、個人のプライバシーを守るため統計的に処理するとともに、得られたデータは上記の目的以外には一切使用しません。また、自由記述欄については、それぞれの質問に対して、先生が普段お考えのことをお書きください。

以下の設問に対してマーク・カードにHかHBの鉛筆でマークして下さい。(回答不要は空欄で、0が必要なら必ず0にマークして下さい。)

【授業コード】 (5けた) 2 - _____ (封筒に記載してある授業コードを5桁でマークして下さい。)

【教員について】 性別 1. 男 2. 女
職名 1. 教授 2. 助教授・准教授 3. 講師 4. 非常勤講師

学系・学部等 (1~8は首都大のみ) 1. 人文・社会系 2. 法学系 3. 経営学系 4. 理工学系 5. 都市環境 6. システムデザイン
7. 健康福祉 8. オープンユニバーシティ、基礎教育センター、学生サポートセンター 9. 都立大学

首都大学分野・コース (2けた) 01 社会 02 社会人類 03 社会福祉 04 心理 05 教育 06 哲学 07 歴史・考古
08 アジア・日本文化 09 欧米文化 10 表象言語 21 法律 22 政治 26 経営 31 数理 32 物理
33 化学 34 生命 35 電気電子 36 機械 41 都市政策 51 地理環境 52 都市基盤 53 建築都市
54 材料化学 61 ヒューマンカロ 62 情報通信 63 航空宇宙 64 経営システム 65 インダストリアルアート
71 看護 72 理学療法 73 作業療法 74 放射線 94 その他

都立大学学部(都立大のみ) 1. 人文学部 2. 法学部 3. 経済学部 4. 理学部 5. 工学部 6. 都市研究科 7. その他

授業科目 1. 都市教養プログラム 2. 基礎ゼミナール 3. 実践英語 4. 情報リテラシー 5. 未修言語科目
6. 保健体育科目 7. 理工共通基礎科目 8. その他の教養科目

受講学生数(履修申請者数) 1. 30人未満 2. 30-80人未満 3. 80-120人未満 4. 120-200人未満 5. 200人以上

本授業担当教員数 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

以下の質問について、次の5段階評価に従って最も適切と思われる番号をマークして下さい。

全くそう思わない そう思わない どちらとも言えない そう思う 強くそう思う

1- - - - -2- - - - -3- - - - -4- - - - -5

【受講学生について】

問1 この授業の受講者人数は適切な規模であった。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問2 学生は、この授業に意欲的・積極的に取り組んだ。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問3 学生は、この授業に対し、十分な理解力を持っていた。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5

【授業について：共通事項】

問4 この授業については、目的を明確にして、体系的に行うことができた。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問5 教科書、レジュメ、黒板、OHP、PC、CD、ビデオ等を適切に使用することができた。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問6 授業の難易度は、全体的に適切であった。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問7 学生に聞き取りやすいように話すことができた。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問8 効果的に学生の授業参加(質問、意見、議論、調査・発表等)を促すことができた。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問9 学生の質問、意見等に対して、明快に、わかりやすく対応することができた。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問10 この授業に対し、熱意を持って取り組んだ。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5

【基礎ゼミナール用個別事項】

問11 学生が基礎ゼミナールの趣旨・意義を理解することができるように努めた。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問12 教員と学生、学生間で、積極的に意思や思考を伝達することが出来るよう工夫を凝らした。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問13 テーマの専門分野に所属する学生に偏ることなく、全員に満遍なく意見発表、調査結果発表の機会を与えることによって、学生が多様な価値観を認識することが出来るように努めた。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問14 学生に、問題発見と、その解決に向けた取り組み姿勢の重要性を認識させるよう努めた。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問15 適切に助言を与えるなどして、学生のディスカッション、プレゼンテーションなどの自己表現能力の向上を促した。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問16 教員によるテーマについての解説部分と、受講生による議論、調査、発表の部分の時間的バランスは良好だった。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5

【授業についての満足度】

問17 学生は、この授業を受講して満足したと思う。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5
問18 私は、この授業を教えて満足した。 1- - - - 2- - - - 3- - - - 4- - - - 5

【自由記述】マーク・カードの裏面に自由に記述して下さい。

この授業を行っていく上で、解決すべき課題があれば、具体的にお書きください。

この授業で、教育効果を高めるために先生が特に行われている方法・工夫がありましたら、具体的にお書き下さい。

その他、FD、カリキュラムなどについてご意見がありましたらご自由にお書き下さい。(複数の授業を担当されている場合は1回で結構です。)

(ご協力有り難うございました。首都大学東京FD委員会および基礎教育部会)